

## 令和3年度クラウドファンディング型モデル事業 事業報告シート

|            |                   |
|------------|-------------------|
| 団体名        | フードバンクしまね あったか元気便 |
| 事業名        | フードバンク事業          |
| 事業費(うち支援額) | 200,000 円         |



頂いたご寄附で購入した備品



フードバンク事業の様子

### ■事業目的

急速に広がる利用者増に応え、食品をより安全に安定的に提供するため、お米と食品の「一時保管庫」を設置すること。さらに、フードドライブによる市民や団体・企業等から寄せられる食品の通年的な受け入れ件数が増加するなか、受け入れ能力の拡張も図ることとしました。

また、そのことは同時に、食品の備蓄量も増え、コロナ禍が長期化するなかで増加しつつある「臨時食品応援」にも対応できることとなりました。

### ■事業内容

多くの食品を取り扱うにもかかわらず台車も食品棚も少ないなど施設・設備環境も未整備で、人的体制も脆弱ななかでフードバンクの取り組みをすすめており、受け入れ食品の回数の増加、総量の増加に伴う食品の搬入、搬出の頻度の増加するなかで、新しく借用した「一時保管庫」に、大型の食品保管棚1台と食品の搬入、搬出用のリフト付き台車1台、折りたたみ台車1台を備え付けました。

### ■事業成果と今後の展望

全県的な展開を視野に入れつつ、当面は、できるだけ早期に松江市内の全ての小・中学校の「就学援助世帯」の家庭と子どもたちに食品を提供し「元気」と「安心」を届けることをめざしています。

また、とりわけ利用者の8割以上を占める「ひとり親」の方々に、単に食品の提供に止まらず、子育てやくらしの様々な応援を他団体や行政とも連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

そのためには、多くの市民、団体、企業等の協力をいただき必要な食品と資金の安定的な確保が大きな課題です。

この度、しまね社会貢献基金の制度を活用したクラウドファンディングという形で、これまで経験のない方法で財源的な支援をいただいたことは、単にその金額の大きさに止まらず、より多くの市民の参加、参画によって私たちの事業と運動の展望を切り開いていく上で、貴重な教訓と経験となりました。ありがとうございました。